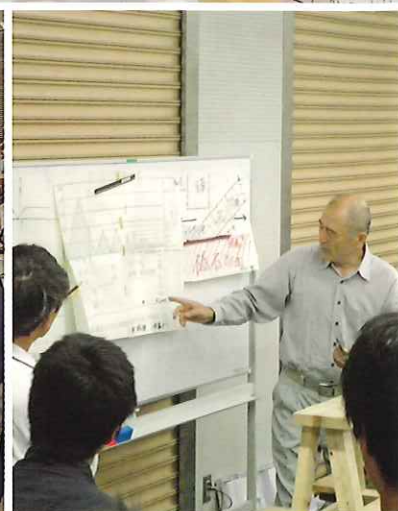
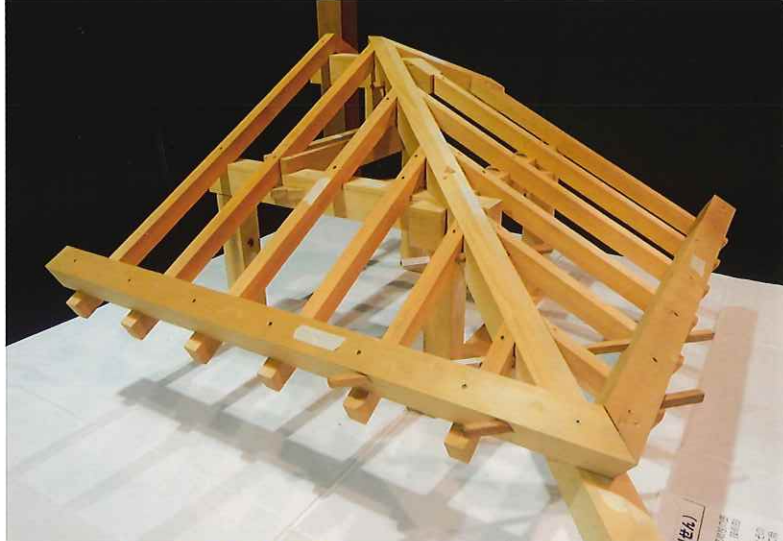


第65期生入校案内

東京建築 高等職業 訓練校

本校は、職業能力開発促進法にもとづく東京都認定の
普通課程建築施工系木造建築科の職業訓練校です。

**2022年4月入校生を
募集しています**



※マスクをしていない写真は全て新型コロナウイルス感染拡大前に撮影したものです。

- 建築大工として修行中
- 建築大工専門の学科・実技を勉強したい
- 建築大工に関する資格を取りたい
- 同じ目的を持つ仲間たちと交流したい

そんな人達のための
訓練校です

入校申込締切：2022年1月31日(月) ※締切後は要相談



東京都知事認定職業訓練校(1958年第3号)・東京都職業能力開発協会会員
NPO東京建設技術センター協力団体

東京建築高等職業訓練校

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-3-10 / TEL 03-3461-1261 FAX 03-3462-4715
<http://tokyokenchiku1958.la.coocan.jp/>

1958年創立、 4,500人以上が巣立っています

訓練校概要

◆ 目的

建築大工等建築技能者として独立し、各必要資格を取得するための学科・実技訓練を行います。

◆ 事業

- ①初級(新規学卒者・建築大工等実務未経験者)および中級(建築大工等実務経験者)対象の養成訓練(普通課程・2か年)
- ②訓練校修了生および中・上級者を対象とする技能向上訓練(短期課程)
- ③2級建築施工管理技士、1・2級技能士等の資格取得のための訓練(短期課程)
- ④日常の建築実務に関する技術・技能研修(短期課程)

◆ 歩み

- 1958年 3月26日 東京建築技能者養成所として設立。4月第1期生入所。11月20日東京建築共同職業訓練所として職業訓練法にもとづく認定を受ける(東京都で第3番目、建築関係では初の認定)
- 1961年 10月28日 優良訓練団体として東京都知事から表彰
- 1966年 11月11日 優良訓練団体として労働大臣から表彰
- 1969年 4月1日 職業訓練新法(職業能力開発促進法)により東京建築高等職業訓練校に名称変更
- 1973年 11月1日 全国優良訓練校として労働大臣から表彰
- 1976年 10月17日 優良訓練校として東京都知事から表彰
- 1981年 11月5日 優良訓練校として中央職業能力開発協会会長から表彰

◆ 延べ修了者

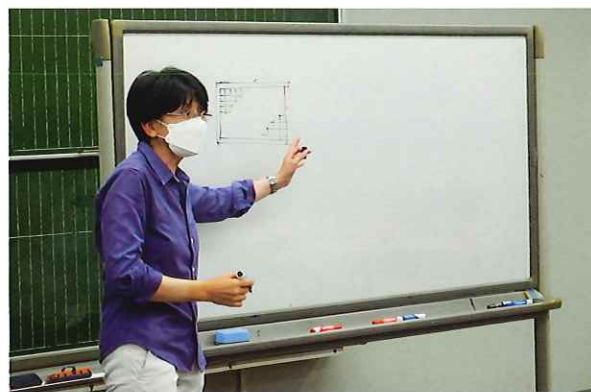
普通課程 1,840名
短期課程 2,719名

◆ 在校生数

普通課程 39名
短期課程 14名
※中学・高校・専門学校・大学卒含む

◆ 講師・指導員

各専門教諭5名、専任指導員14名(参考書執筆者6名)



学科の授業も充実



木造建築の伝統技術・技能を学び、次代の建築を担うための訓練

訓練内容

◆ 訓練期間と訓練日

訓練期間は2年間。基本的には毎週土曜日が登校日（集合訓練日）で、午前9時から午後5時まで、1年次47日、2年次52日。（夏・冬・春休みあり）

◆ 訓練科目

	学年		科目		主な課題	
	1	2	基礎	専攻		
基礎 学科	①		建築概論		道具の使い方と手入れ	
			建築計画概論		尺杖・大矩	
			建築生産概論		墨差し・砥石台	
			測量		継手・仕口各種	
	①②		建築製図		直進階段	
			構造力学概論		朝顔箱	
			建築構造概論		棒隅木	
		②		建築設備		和室の造作仕口
				安全衛生		和風小屋丸太墨付け・仕口
				関係法規		四方転び踏台
専攻 学科	①		木質構造		回り階段	
			建築材料		隅木・振れ垂木	
			工作法		入隅・振れ垂木	
	①②		規矩術		振れ隅木	
			仕様・積算		反り隅・茅負い原寸図	
	②		木造建築施工法		分散実技（各事業場で）	
	行事		入校式・修了式・見学会・研修旅行・作品展・破傷風予防接種等			

◆ 試験

入学試験はありません。学年末試験と修了試験および技能照査(学科・実技)があります。

◆ 教室

学科 全建総連会館(JR/地下鉄東西線「高田馬場駅」下車)

実技 都立職業能力開発センター実習室(府中等)

※学科・実技ともに変更の可能性あり。



文化財改修工事現場の見学



ベテラン指導員による実技指導



修了者には 技能検定学科試験免除など多くの特典

募集要項

◆ 募集学科と定員

普通課程建築施工系木造建築科50人

当校規則を守り、建築の仕事に就きながら建築技術技能者を志す意欲のある者。

(実務経験の有無は問いません)

ただし、中学校卒業者は2年の実務経験が必要です。

◆ 入校手続き

①下記に連絡し、「入校願」を請求してください。入校願と入校説明書を送付します。

②入校願に必要な事項を記入・なつ印し、写真4枚(縦3cm×横2.5cmで3か月以内に撮影のもの:裏に氏名を記入)を添付して訓練校事務局に提出してください。(郵送可)

③入学金を口座振り込みまたは現金書留でお支払いください。(一度納入された入学金は返却しません)

※申込締切は1月29日です。手続きが完了された方には、「入校式の案内」等諸資料をお送りします。

※訓練の見学を希望する方は下記まで事前に連絡してください。

◆ 費用

①入学金 35,000円(申込時に納入)

②授業料 月額13,000円

※教科書、教材、製図用紙、実技実習用材料等は無料です。

※製図用具、手道具一式、作業着は本人(または事業所)で揃えてください。

(製図用具・道具類は訓練校で注文できます)

◆ 修了時の特典

①修了時の技能照査に合格すれば、建築大工2級技能検定の学科試験免除。

※2級技能検定合格後2年の実務経験で、1級技能検定の受検が可。

②最初から1級技能検定を受ける場合は、修了後4年の実務経験で受検が可。

③修了後、高卒の場合修了後すぐに二級建築士試験の受験可、試験を合格し修了後2年の実務経験で登録可。

(※下記参照)

二級建築士の受験にあたっては、国土交通大臣の指定する建築士に関する科目(以下「指定科目」という)を修めて修了した者です。したがって、各自が履修した「指定科目」の修得単位数によって必要となる建築実務の年数が異なり、その修得単位数によっては受験ができない場合もあります。

本課程の場合は、「必修科目」を所定の単位数以上習得することにより、二級建築士を受験することが可能になります。

実務経験については、試験の前後に関わらず、修了後2年の指定実務を積んでいればよいこととなりました。

④修了後の実務経験7年(技能照査合格の場合は6年)で職業訓練指導員免許を取得するための48時間講習の受講が可。

◆ 訓練生派遣事業主への助成

申込締切日までに申込を完了し、雇用保険を適用する建設業事業主は、一定の条件を満たせば「人材開発支援助成金」を受けることができます。

※給付申請等については訓練校事務局にお問い合わせください。

お申し込みまたはお問い合わせは

東京建築高等職業訓練校

〒150-0041 渋谷区神南1-3-10

☎ 03-3461-1261 FAX03-3462-4715

E-mail: LER00252@nifty.com

NPO東京建設技術センター

〒169-8650 新宿区高田馬場2-7-15

☎ 03-3200-7911 FAX: 03-3209-4087

E-mail: toren@zenkentoren.jp